

平成25年度 学校評価に係る学校改善報告書

平成26年2月12日

1 学校の概要			
学 校 名	美祢市立麦川小学校	校 長 名	磯部 孝志
児童生徒数	40名	学 級 数	5 学級

2 教育目標	
(1) 教育目標	かかわり合いをとおして、夢に向かってがんばる子ども
(2) 重点目標	① 個に応じた基礎学力の定着 ② 心の安心づくり ③ 保護者・地域との連携
(3) チャレンジ目標	1 大きな声で自分からあいさつをしよう 2 すすんで毎日読書をしよう 低学年：200冊以上 中学年：100冊以上 高学年：80冊以上 (100P以上の物語30冊以上) (150P以上の物語20冊以上)

3 重点目標達成についての総括的評価	
①個に応じた基礎学力の定着	保護者の授業評価がやや低調 読書達成率は3月末には100%の予定 本校独自の授業スタイルはできた。活用力育成問題が課題となっている。
②心の安心づくり	自分からあいさつをしようという意識が高まってきている。思いやりの心の肯定率が9割弱であり、目標より下回ったが、AFPYや行事を通して心情面での成長は見受けられる。
③保護者・地域との連携	家庭学習時間とテレビ視聴2時間以内の達成率が9割弱程度とやや低調 睡眠時間8時間と地域人材活用、見守り隊協力は100%達成 幼保小中、地域、保護者との課題共有と協働体制を進めていきたい。

4 来年度の学校課題	
①個に応じた基礎学力ならびに活用力の育成	
②豊かな心情と健康な身体づくりの推進	
③平成26年度から3年間、人権教育総合推進地域事業を大嶺中校区が指定されることを受け、人権教育の総合的取組の推進	
④コミュニティ・スクールの設置と組織づくり	

5 学校課題に向けての具体的な取組	
①	本校独自の授業スタイルを日常化し、児童と共に基礎学力ならびに活用力向上をめざしていく。 家庭学習の手引きを保護者に機会あるごとに説明し、自ら学ぶ児童の育成を進める。帰宅後の生活の中に読書時間を設定する。
②	日常生活の場につなぐ道徳授業やAFPY等の人間関係づくりの活動を教育活動に取り入れていく。 健康タイムの工夫や外遊びの奨励、規則正しい日常生活(食事・睡眠など)の習慣化を推進する。
③	学校・家庭・地域社会が一体となった人権教育の総合的な取組を協議し、人権課題を共有しながら心身共に健全な児童を育成する。
④	コミュニティ・スクールのあり方について協議しながら、保護者や地域住民の学校運営参画や連携強化を進めていく。(設置1年目)